



## 平成25年度北海道高等学校 産業教育実技講座(家庭)の報告

道央Aブロック 早川 陽子

1月14日(火)から4日間、「平成25年度 北海道高等学校産業教育実技講座」(主催：北海道教育委員会)が旭川市の北総研にて開催、全道から6名の高校家庭科担当教諭が参加されました。講座の目的は、これからの授業に必要な知識と技術を習得してもらうものです。そのうち半日の講座を女性委員会の米本、齋藤(旭川)、早川(小樽)が担当しました。

### ■講義「高等学校における住教育のありかた」

～高校時代に学んで欲しいこと～

- ・家の大切さと衣食住の関係
- ・私の育った家(居場所)
- ・ライフステージ・ライフスタイル
- ・北海道の住宅史
- ・賢い消費者として

約1時間、興味深かったのはそれぞれメモを取る所が違ったこと。そしてやはり女性、インテリアへの関心は高いようでした。

今後は、先生たちの興味のある分野を授業の中に上手くつなげてゆくアドバイスが出来たら良いと思いました。



### ■演習「私らしい住まいの設計」



高校生向けの家庭科住教育出前講座「私らしい住まいの設計」を先生たちに体験してもらいました。

最初に立地条件、建物概要、ゾーニングの説明をし、間取りの作成はマンツーマンで進め、居住地の選択、光と風の取り込み方、動線や収納の計画など約2時間で完成。発表は、自らの暮らし方を大切にしたい個性ある設計で、完成度も高いものでした。プレゼンテーションは説得力が抜群で、さすが先生と感心しました。

後日の感想から、「授業への応用やヒントが得られた」、「豊に暮らす視点を生徒に伝えたい」、「実習は記憶に残るので専門家のアドバイスが欲しい」等、私たちも課題をもらいました。

教育する側の方たちとの関わりは「子どもと建築部会」の目標の1つでした。今後は、今までの経験を生かし新たな活動へと発展させたいと思っています。

## 防災お料理講座の開催

釧路支部 山崎 景子

釧路支部では「かんたん防災お料理講座」と銘うち、被災したとき、また、災害に備え備蓄した食品の入れ替えのときに美味しく食べることができるお料理を！と釧路短期大学講師でいらっしやる佐々木可菜恵先生を講師にお招きし2月22日に開催いたしました。

日頃より地震が多い釧路。また先日の豪雪による災害も記憶に新しいこともあってか、皆さんの受講する姿は真剣そのものです。



レシピを確認する皆さん

メニューは全10品で、ポリ袋を使って煮た(炊いた)ごはん、おかゆ、イカの煮付の缶詰を使ったイカ飯風ごはんはとても美味しく、あさりの水煮缶と干し椎茸を使ったスープやトマト缶とサバの水煮缶を使ったトマトソース煮など、乾物や缶詰など家庭に常備している食品が簡単に美味しいお料理へ。また、乾パンはお洒落なデザートティラミスへと美味しく大変身！普通にお家でのおもてなし料理としても活躍できるレシピで私自身とても勉強になった内容でした。おまけ講座として、空き缶と食用油などを使ったコンロとしても使えるキャンドルを作ったり、津波や吹雪による災害への対処方法や連絡先などについての話を配布したパンフレットを見ながら皆さんに聴いていただくことができました。

この講習会が少しでもご家庭での防災意識を高め見直すきっかけになってくれたらと期待します。